

## 第3回牧之原市学校再編計画策定委員会 次第

日時：令和2年3月2日（月）午後1時30分～

場所：相良庁舎3階会議室

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 振り返り

### 4 議 事

#### ○ 意見交換1

通いたい・通わせたいと思われる魅力的な小中一貫校とは？

#### ○ 意見交換2

魅力的な小中一貫校を実現するための学校規模や校数を検討

する上での考え方を整理する。

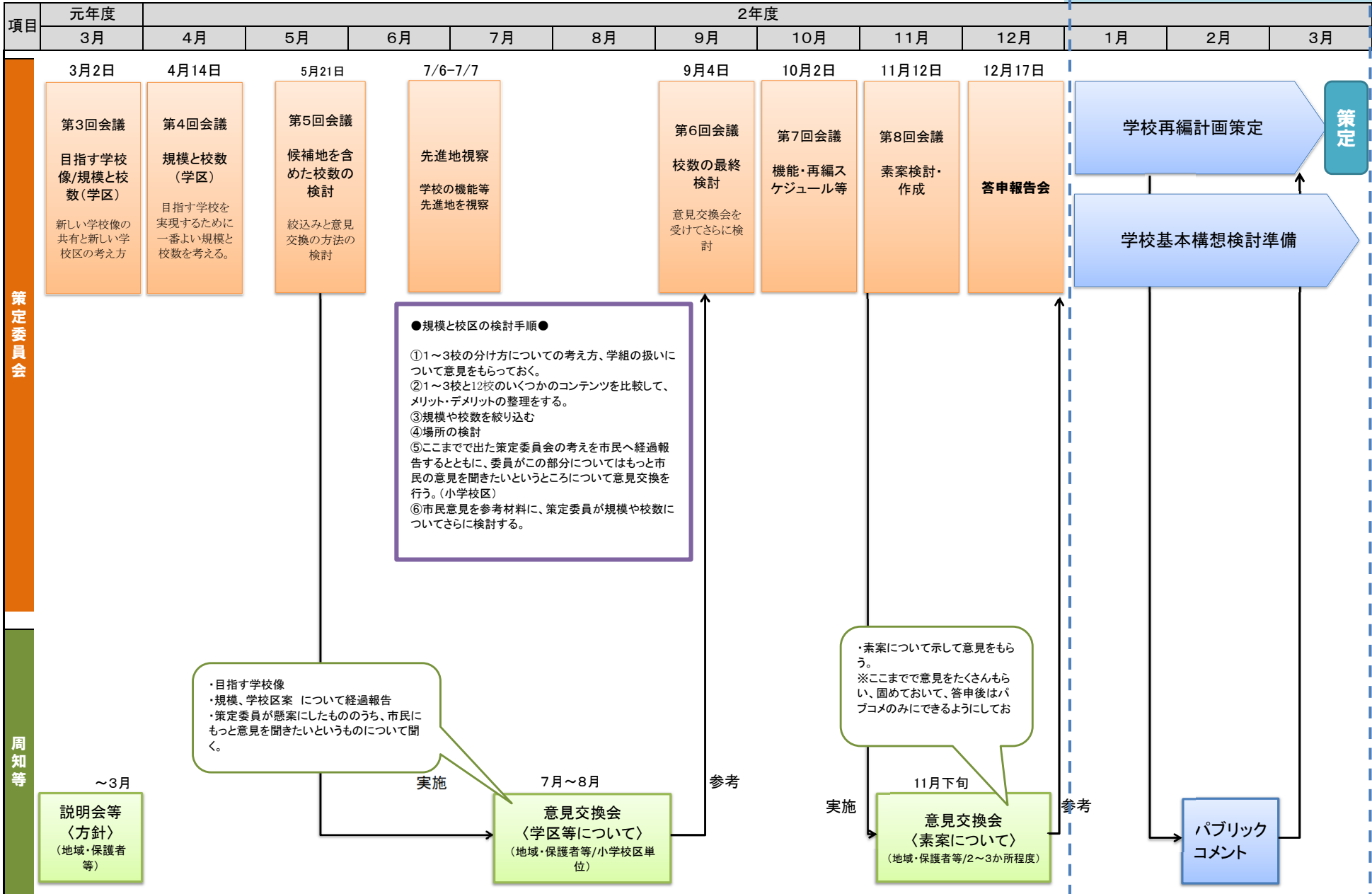
### 5 連絡事項

### 6 閉 会

# 学校再編計画策定委員会令和2年度末までのスケジュール

※令和2年度末までに策定することを想定したスケジュール。  
検討の進み方によっては後ろにずれていく可能性有。

答申後は市が行う

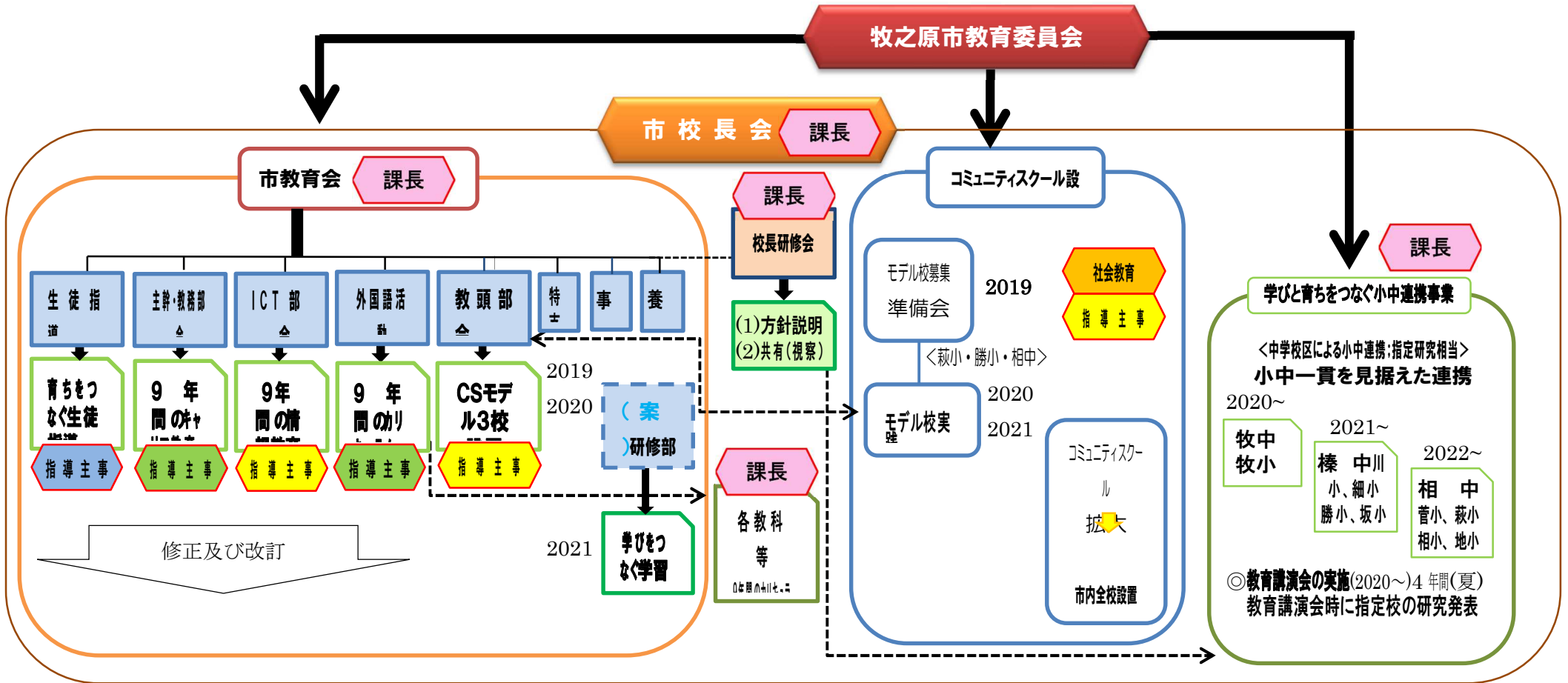


小中一貫教育推進計画(牧之原市)

牧之原市望ましい教育環境に関する方針をうけて

<2019~2022;研究組織構想>

資料2



牧之原市の新たな教育構想(案)は、**牧之原市の教職員と指導主事(教育委員会)**で創る。<児童生徒を育む教職員の思いを詰めた教育計画の作成>先生方一人一人の思いを詰め込むからこそ、先生方自身が勤務したくなる学校となり、教職員のやりがいを詰め込んだ学校だからこそ、児童生徒が通いたくなる学校、保護者が通わせたい学校、さらには地域が誇りに思う学校づくりとなる。

## 各 部 会 の 研 修 内 容

**校長研修会** ……方針の理解と教職員への浸透、キャリア教育を軸とした学校経営  
(①望ましい教育環境のあり方に関する方針(学習会) ②先進地視察研修)

**育ちをつなぐ生徒指** ……**9年間の生徒指導体制の構築**(共通のきまり、実践事項の検討と提案、家庭生活の共通の呼びかけ内容の作成)  
その為に本年度は、めざす生徒像の検討、小中の生活に関するきまりの理解

**9年間の情報教** ……**9年間のICT教育のカリキュラム、系統図の製作**及び年間3回の研修会(指導主事との連携)

**9年間のカリキュ** ……来年度; 9年間の学びの系統図(**外国語カリキュラム**)完成(そのための年間3回の研修会の企画・運営)  
**他教科の9年間のカリキュラム作成の組織づくり**

**9年間のキャリア教** ……**9年間のキャリア教育系統図、カリキュラムの作成**、モデル校における試行、実践研究・課題検討の調整・指導  
**キャリアパスポート検討と提案**、先進地視察

**コミュニティスクール** ……コミュニティスクール立ち上げの意義と立ち上げに向けての構想づくり  
**モデル校3校の立ち上げ**、コミュニティースクール学習会、先進地視察

**学びをつなぐ学習指** ……(案)来年度;**市内研修主任研修会の立ち上げ**(研修会の企画、検討会の実施)  
9年間の学びの基本形(授業の受け方、家庭での学習の仕方)の作成

**学びと育ちをつなぐ小中連携事業** ……中学校区ごとの(小中一貫を目指した)**連携事業実施**、一貫校に生かせる事業の研究

# 牧之原市ICT教育 力の形成マップ

令和元年度 牧之原市ICT教育研究員作成

		低学年	中学年	高学年	中学 1 年生	中学 2 年生	中学 3 年生
活動スキル	目的に応じてICT機器を操作する力	起動や終了などの基本的な操作ができる。 マウスやタッチパネルを操作し、絵を描いたりすることができる。	必要に応じて各機器の基本的な操作ができる。 10分間に50～100文字程度の文字を入力することができる。	10分間に100文字程度の文字を入力することができる。 必要に応じてフォルダを作成してデータ保存をすることができる。	必要なアプリケーションを自分で選択し、活用することができる。 10分間に150～200文字程度の文字を入力することができる。	用途に応じて複数のアプリケーションを組み合わせ活用することができる。 10分間に200～300文字程度の文字を入力することができる。 アプリケーション操作や機器の接続等に関する簡単なト	
	ICT機器の利便性と危険性を意識して活用する力	伝える相手を意識して、自分の考えや気持ちを手紙等で伝えることができる。	情報の中には誤った情報や信頼性の低い情報もあることに気づくことができる。 インターネットを介して、自分の考えや気持ちを誤解のない表現で伝えることができる。		検索した情報の中から信憑性の低い情報や、不必要な情報を選択することができる。 電子メール等を用いて、自分の思いを誤解のないように伝えたり、相手の気持ちを考えたりしてコミュニケーションを図ることができる。		
探究スキル (探究・交流・共有・発信)	ICT機器を使ってわからないことを調べる力	図書館を活用し、興味のある情報を探ることができる。 知りたい情報を引き出すためのキーワードを想像することができる。	思い浮かんだ単語を入力し、必要な情報を検索することができる。 複数のキーワードを組み合わせ、必要な情報を検索することができる。		検索で得られた複数の情報の中から必要な情報を選択・抽出することができる。	検索で得られた複数の情報の中から必要な情報を選択・抽出することができる。 必要な情報を収集できなかった場合に、キーワードやその組み合わせを変更し、必要な情報を効率よく引き出すことができる。	
	ICT機器を使って考えをまとめたり、記録したりする力	アプリケーションを使用して写真撮影し、保存したり見たい画像を見たりすることができる。 実物投影機を使って自分の説明を映像で補うことができる。	見学・インタビュー・アンケート・観察・実験・Web検索等で収集した情報を整理し、要点をまとめたり、考察したりすることができる。 簡単な文書やプレゼンテーション等を作成する。		実験・観察・Web検索等で集めた情報を目的に応じて加工したり配置したりして、思考の整理に役立てることができる。	集めた情報をもとにして統計処理等を行い、傾向や規則性等を調べたり予想したりすることができる。	
	ICT機器を使って効果的に説明したり、考えを共有したりする力	授業支援ソフトを使用し、タッチパネルを使って、自分の考えを書き込んだり、提出したりすることができる。	目的に応じて配色や色合い、文字の大きさなどを変更することができる。 授業支援ソフトを使い、自分の考えを書き込んだり提出したりできるとともに、交流に役立てることができる。		文字・写真・表・グラフ等を組み合わせ、レポートやポスター、プレゼンテーション等を作成し、効果的に説明したり、主張したりすることができる。 資料となる動画や画像を撮影し、簡単な編集や加工をすることができる。		
プログラミング	ICT機器を用いたプログラミング的思考の育成	命令によって動かすことのできるおもちゃやロボット、人やワークシートを使って、プログラミングの基礎を理解することができる。		算数・理科等の授業において、論理的な思考をもとにして簡単なプログラミングを行うことができる。	技術・家庭科の授業において、論理的な思考にもとづいて簡単なプログラミングを行うことができる。 各教科の学習においてもプログラミング的思考を生かした考え方をすることができる。		

牧之原市キャリア教育プログラム(第2次草案)

めざす子ども像	次代を切り拓く力						
<b>起郷家</b>							
定義：郷に学び、自らの将来を見通し、行動を起こす							
重点目標	〈中学生〉 地域の力になれる姿を目指して行動し、生きる道筋を見つけながら、自己を開拓する。						
	〈高学年〉 地域を変えようという思いを持ち、自分の生き方を考え、生活上の課題を自分の力で解決しようとする。						
	〈中学年〉 地域の歴史や文化を愛し、人のためにできることを考える。						
	〈低学年〉 自分の命を大切にし、豊かな体験を通して地域を知る。						
力基 礎的 的 能	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力			
	a 他者への働きかけ c コミュニケーション力	b 他者理解 d チームビルディング	e 自己理解 g 判断力	f 主体性 h レジリエンス	i 課題発見 k 計画立案	j 情報の理解・選択・処理 l 実行力	m 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 n 多様性の理解

<b>教科</b>			
	社会の仕組みと勤労	地域	防災
学年	学習内容		
中3	≪市民意識の醸成と将来の生き方≫ 【要素】	≪持続可能な地域≫ 【要素】	≪災害を知り、防災を考え、 地域で率先して行動しよう≫ 【要素】
中2			
中1			
小(高学年)	≪社会的行動力の基礎≫ 【要素】	≪地域の未来≫ 【要素】	≪自分のためにできること、 人のためにできること≫ 【要素】
小(中学年)	≪よりよい生活への態度形成≫ 【要素】	≪地域の歴史や文化≫ 【要素】	≪家族と一緒に考えよう≫ 【要素】
小(低学年)	≪基本的生活習慣と規範意識≫ 【要素】	≪地域の自然、伝統、文化≫ 【要素】	≪命を守る自分になろう≫ 【要素】

起郷家教育で育てたい資質・能力(第1次草案)

基礎的・汎用的能力の要素	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
a. 他者への働きかけ 他人に働きかけ巻き込む	a. あいさつや返事をする。	a. 自分からあいさつや返事をする。	a. 相手と場に応じた言葉がけをする。	a. 相手と場に応じた言葉がけや行動を考えて、他者に働きかける。
b. 他者理解 他者の多様な個性を理解し、互いに認め合う	b. 友達の良さに気付く。 b. お世話になった人に感謝する。	b. 友達の良いところを認め、励まし合う。 b. 自分の生活を支えている人に気付き、感謝する。	b. 自分と異なる立場や考え方を理解する。	b. 多様な文化や考えを理解する。
c. コミュニケーション力 多様な集団・組織の中で、豊かな人間関係を築く	c. 自分の考えをみんなの前で話す。 c. 「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。	c. 自分の考えや意見をわかりやすく伝える。 c. 相手の伝えたいことを考えながら聴く。	c. 自分の考えを相手意識を持って伝える。 c. 思いやりの気持ちを持ち行動する。	c. 他者とのかかわりを大切にし、お互いの個性を尊重する。
d. チームビルディング 他者と協調・協働して行動できる	d. 友達と仲良く遊んだり、活動したりする。	d. 相手と協力して物事に取り組む。	d. 誰とでも協力して活動し、役割を果たそうとする。	d. みんなが特性を生かせるように意識して行動する。
e. 自己理解 自己理解を深め、自分らしい生き方や成功を追求する	e. 自分の好きなことを言える。	e. 自分の良いところを見つける。	e. 自分の特性に気付き、自分らしさを発揮する。	e. 自分の特性を集団で役立てる。 e. 体験活動を通して、自尊感情を高める。
f. 主体性 物事に進んで取り組む	f. 自分がやりたいことを言える。	f. 自分がやりたいことに取り組む。	f. 自分がやりたいことに、積極的に取り組む。	f. 自分の思いや考えを実現しようと行動する。
g. 判断力 自らにふさわしい選択・決定を行う	g. 生活する上でしてはいけないことがわかる。	g. 生活する上でのルールやマナーを守る。	g. 思いどおりにいかないときに、周りの状況や相手の気持ちを考えて行動する。	g. 自分と周りの人や物の関係性を考え、行動する。
h. レジリエンス 困難な状況でもしなやかに対応する	h. 困っていることを周りの人に伝える。	h. 失敗したときに気持ちの切り替えをする。	h. 悩みや葛藤を周りの人に相談する。	h. 他者のアドバイスを、課題を乗り越えるための力として生かす。
i. 課題発見 現状を分析し目的や課題を明らかにする	i. やりたいことを見つける。	i. 興味のあることの中から課題を見つける。	i. 生活や学習上の課題を見つける。	i. 体験や知識を生かして課題を見つける。
j. 情報の理解・選択・処理 必要な情報を選択・活用し、自己の生き方を考える	j. 知りたいことを知るための方法を考える。	j. わからないことをいろいろな方法で調べたり質問したりする。	j. 課題解決に必要な情報を、適切な手段で取捨選択する。	j. 課題の解決に必要な情報を収集し、他者と共有する。
k. 計画立案 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備をする	k. 決められた時間やきまりを守る。	k. 作業の手順が分かる計画を立てる。	k. 目標に対し、見通しを持つ。	k. 明確な目標を達成するための計画を立てる。
l. 実行力 課題解決に取り組む	l. 自分のことは自分で行う。	l. 自分に与えられた役割をやり通す。	l. 課題を自分の力で解決しようとし、集団の中の自分の役割に責任を果たす。	l. 他者と対話・協働し、試行錯誤しながら、課題を解決する。
m. 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 学校で学ぶことと社会・職業生活との関連を理解する	m. 係や当番活動に取り組む。	m. 係や当番活動に積極的にに関わり、働くことの喜びがわかる。	m. 学んだことと生活や職業との関連を考える。	m. 学んだことと社会生活を結びつけ、自分の生活に生かす。
n. 多様性の理解 職業や勤労に対する広範な見方・考え方を持つ	n. 身近で働く人の様子を見て、興味を持つ。	n. いろいろな職業があることがわかる。	n. 身近な産業、職業の様子がわかる。	n. 人々と関わり、多様な生き方(働き方、職業、進路)があることに気付く。
o. 将来設計 様々な選択肢について比較検討し、自らにふさわしい選択・決定を行う	o. 将来のあこがれを持つ。	o. 将来の夢やあこがれを持つ。	o. 将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力する。	o. 自分の特性・興味・関心から将来を考える。 o. 夢や希望を実現する上での課題を見つけ、課題解決のプロセスをみいだす。

考資料 キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告「表3-1これまでに提唱された主要な能力の概要」「基礎的・汎用的能力」とこれまでに提唱されてきた関連する諸能力との関係について(試案)」  
雲南市「夢」発見プログラム 品川小中一貫教育 市民科

## 「主体的な学び」(主体的な学習者の育成)

## 「対話的な学び」(従来の授業形態の見直し)

## 「深い学び」(知識だけでないコンピテンスの育成)

【学習指導要領 第3 教育課程の実施と学習評価  
1 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善(3)】「第2の1の(1)に示す情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えこれらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」

### 協働学習

オンライン、タブレットによって対話型の協働学習を実現する

新しい考えを共創する「タブレットを用いたディスカッション」  
自分のグループだけでなく、同時に他グループの考えも共有できる環境によって、皆で協働して新しい考えをつくる協働学習を行う。



思考力・判断力・表現力の育成までねらった「スカイ・ニュークラス」活用  
教師がタブレットから一斉に課題や資料を送る。サーバにあるこれまでの学習内容や履歴を検索して新たな課題解決に導く。③端末のプレゼン作成機能で、それぞれの表現する機会を保障する。など知識・技能習得に留まらない主体的な学びが展開できる

### 大型提示装置(プロジェクター)を用いた思考の可視化、焦点化

各教室に配備されたプロジェクター、実物投影機によってタブレット端末の画像やノートなどを大きく映す、また拡大や書き込み、動画による過程を提示すること、子どもたちの思考を可視化、焦点化する。



### 適応学習

サーバのビッグデータとAIナビゲータで個々の「基礎力」「情報活用能力」育成

### センターサーバと「Eライブラリ」を活用した個別に最適化された学習

ビッグデータとして一人一人の学習進度や進度が蓄積され、膨大な問題の中から最適な個別学習が学校でも家庭でもできる。



情報化社会必須の基礎学力「情報活用能力」の定着  
ICTが日常化した社会で必須の「情報活用能力」をタブレットでの調べ学習(情報収集能力育成)や、情報モラル学習、パソコン教室でのキーボードタイピングなどで学ぶ。

民間教育と連携した「プログラミング学習」  
今後必須のプログラミング的思考や「コンピュータの仕組み理解」の入り口を学校が提供し、外部人材、NPOと連携して、尖鋭的な人材育成の仕組みづくりに取り組む。



### 校務支援システムによる教員の業務効率化

各種情報を一元化して転記、共有等で活用することで、事務や成績等作成の作業効率を向上させる。効率化によって生まれた時間を、資質能力育成型授業の準備や子どもと向き合うなど本質的な業務に充てる。

### 授業改善と働き方改革を実現する「校務の情報化」

セキュリティの強化  
24時間監視、SASTIKによる物理的な遮断によって守られたセンターサーバで学校の情報漏洩、データ破損を防ぐ。

### データ蓄積と共有による教育の質の向上

「子どもたちの多様性への対応」「地域人材、企業などデータ共有による外部との連携」「生徒指導や成績のデータ一元化」によるエビデンスに基づいたチーム対応による「質の高い教育」を提供する

### 無線LAN環境による高速かつ安定した通信

教室に高速で安定した回線があることで、サーバからの動画など大容量データのダウンロード、サーバと連動した授業支援ソフト活用、生徒と生徒、教師などが高速で通信しての学習や業務が可能になる

### 全てを支える「ICT環境整備」

未来を見据えた「ICT環境整備」  
ICT技術革新による教育イノベーションの、インパクトはICTを活用する次元に留まるのではなく「学び方」「学校教育のあり方」そのものを変えていく。「ICT環境整備」はそうした変化を見据えた基盤づくりとなる。

### 民間教育と公教育の環境の連携

民間教育や地域社会、企業、先端研究との連携を強化する。オンライン環境等で繋がった複数の学びがある環境づくりによって学習者自身が目的のために学びを選択し組み合わせることができる。

### 学習者中心の学びのシステム



技術(社会変化)によって「VRやオンライン会話で学校以外も教室空間となり、より社会的で探究的な学習内容によって、社会と教育の壁、民間教育と公教育の壁が溶け、高い学習効率をもつ「学習者中心の学びのシステム」へと変換していく。(先生の役割も支援者などの役割に変わっていく)

EdTech「民間教育発の教育イノベーション」テクノロジーを活用して教育に革新、サービス、技法を指すものまたは「サービス・技法を構成する要素テクノロジーそのものを指す」

## ICT環境整備が導く「未来の教室」

2030年の「未来の教室」で育てる3つの「課題解決力」

「越境」できる資質・能力  
思考の軸になる専門性、異分野を理解する基礎学力、受容力、対話力、巻き込む力

チェンジメーカーの資質・能力  
自己肯定感、当事者意識、共感力、課題の発見力、一歩を踏み出す力

「試行錯誤」できる資質・能力  
遊び心、創造性、正解なき中での思考力、リフレクション、失敗からの回復力

経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会(第1次提言)より



# 勝間田小コミュニティースクール

## 学校運営協議会



協議委員 (PTA)

CS ディレクター

鈴木

- 教育課程など 学校運営の基本方針を説明
- 方針の説明を受けて審議し承認
- 学校運営についての意見を述べる
- 教職員任用についての意見を述べる

<方針実現に向けて>  
地域との協働に向けて協議 (経営支援)  
(CS ディレクター)  
**連絡・調整・広報**

説明  
承認



校長

### めざす学校像

ふるさと勝間田とともにある学校  
夢・感動・笑顔あふれる学校  
身につけたい資質・能力  
未来を生き抜く力

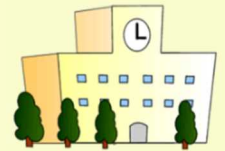
### 教育目標

**かしこさ ありがたさ しなやかさ**

### 重点目標

**かがやこう 自分から みんなで  
~うごく・つなぐ・つくる~**

### 教育方針



第1ステージ 出会い  
がんばろう自分から

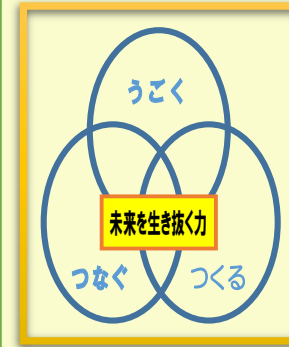
#### <学びづくり部>

○主体的・対話的に考え学び合う  
実感、感動を積み重ね、どの子にも確かな学力を育む

- ・基礎基本の確実な定着
- ・対話を通して学びを深める
- ・数学的な見方・考え方の追究
- ・子ども一人一人のニーズに応じた支援・指導の充実

第2ステージ 挑戦  
がんばろう自分から

P・D・C・A



第4ステージ かんしゃ  
がんばろう自分から

#### <きりりづくり部>

○夢や希望をもと、自分らしさ・可能性を発揮できる笑顔あふれる環境づくり、豊かでしなやかな心身を育む

- ・目標設定・実践・修正サイクル
- ・自己肯定感を高める
- ・感動体験、人とのふれあい
- ・心身に関心を持ち、進んで運動に親しむ

第3ステージ きりり  
がんばろう自分から

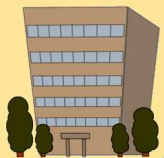
### 地域:地域は学校

意見

設置

## 教育委員会

学校運営に関する意見



### 学校支援地域本部

- ・ボランティア派遣
- ・ボランティア交流会
- ・輝楽さん

学校支援  
ディネーター



### 学校支援グループ

**安全支援**  
軒先運動  
見守り隊



**読書活動支援**  
読み聞かせ、図書室整備

**農業体験活動**  
芋づくり、野菜づくり  
大豆づくり、米づくり  
とうもろこしづくり等

### 授業支援

授業に専門家や地域の  
人をゲスト講師として紹介  
・榛原ふるさとの森

### 学習支援

星座の観察、観測  
学習補助

### PTA

- ・生活習慣
- ・家庭学習習慣
- ・親子活動
- ・PTA 活動



家庭・地域と協働する地域とともにある  
学校を目指す

【数値目標】

学校の様子をわかりやすく伝えている 90%以上

# 相良中コミュニティスクール

## 学校運営協議会



協議委員 (PTA)

CS ディレクター

- 教育課程など 学校運営の基本方針を説明
- 方針の説明を受けて審議し承認
- 学校運営についての意見を述べる
- 教職員任用についての意見を述べる

＜方針実現に向けて＞  
地域との協働に向けて協議（経営支援）  
(CS ディレクター)  
**連絡・調整・広報**

説明  
承認



校長

子どもたちの  
**主体性を育む教育**  
活動を推進したい！

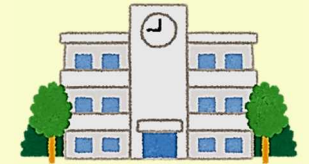
教育目標

感動を創り 夢を拓く相中生

重点目標

認め合い 支え合い 高めあう生徒

教育方針



### Plan

#### <学びづくり部>

- 学び合い、高めあう授業づくり
- ・「つながる授業」<3つのルール>
- ・(わかろうとして) 聴く姿勢の徹底
- ・学習習慣（家庭との連携）
- 【目標】授業が楽しい 90%以上

#### <誇りづくり部>

- 「主体的、実践的な態度」の育成
- ・生徒の思いを大切にし意思のある活動から
- 自己肯定感を育む・話し合い活動
- ・自治活動の奨励(生徒会、生徒議会)
- 【目標】相中に誇りをもっている 90%以上

#### <たくましさづくり部>

- 学び合い、高めあう授業づくり
- ・認め合い、支え合う仲間づくり
- ・自己肯定感を育む生徒指導
- ・レジリエンスの向上
- ・安全・安心な学校づくり

### Do

#### 第1ステージ **出会いと決意**

- ・ひと・こと・ものとの出会い
- ・これからの自分を描く
- 4月
- ・生活する仲間を知る

#### 第2ステージ **挑戦**(金力、引き出す)

- ・学習・授業に全力で取り組む
- 7月
- ことの価値づけ

### 生徒会

自分たちの学校を自分たちの手で創る  
**Never Stop Challenging**  
相中の誇り[挨拶・清掃・合唱](継承)  
生徒が創る授業(創造)

#### 第4ステージ **飛躍**(感謝、つなぐ)

- ・自分の意志で行動する
- ・自己肯定感を育む生徒指導
- ・レジリエンスの向上

#### 第3ステージ **創造**(団結、活力)

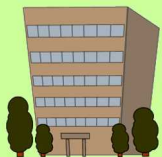
- ・仲間の良さを認め集団で良いものをつくり共に高めあう(授業、七耀祭)

意見

設置

## 教育委員会

学校運営に関する  
意見



## 地域

### 学校支援地域本部

- ・ボランティア派遣
- ・ボランティア交流会
- ・輝楽さん

学校支援  
ディネーター



### 講話(NPO)

地域避難訓練  
・活動訓練

### 職場体験 <商工会>

### 授業支援

- 授業に専門家や地域の人をゲスト講師として紹介
- ・市役所(各課、議会)
  - ・歴史学習(学芸員)
  - ・パパママ体験
  - ・福祉体験
  - ・防災学習



### 読書活動支援

読み聞かせ、図書室整備

### 地域貢献活動

- ・通学路の清掃
- ・小堤山公園清掃
- ・夏祭りステージ演奏
- ・田沼マラソン
- ・海岸清掃

### 青少年ボランティア

- ・成人式・公民館祭り・通学合宿

## PTA

- ・生活習慣・家庭学習習慣
- ・学級懇談会
- ・親子活動
- ・PTA 活動



# 萩間小コミュニティスクール

## 学校運営協議会



協議委員 (PTA)

坪池芳子さん

CS ディレクター

- 教育課程など 学校運営の基本方針を説明
- 方針の説明を受けて審議し承認
- 学校運営についての意見を述べる
- 教職員任用についての意見を述べる

<方針実現に向けて>  
 地域との協働に向けて協議 (経営支援)  
 (CS ディレクター)  
**連絡・調整・広報**

説明  
承認



校長

教育目標

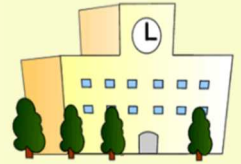
自ら学び 共に学ぶ

教育方針

子どもたちにつけたい資質、能力  
**個を強くする**  
**『挑戦力』**

重点目標

**気づく**  
**考える** **自分が (主体)** **やってみる**



### 学ぶことが楽しい授業がある

「わかる・できる喜び」を味わうユニバーサルな授業をつくる

- ・つけたい力を明確にした授業
- ・学びの環境づくり
- ・個の教育的ニーズに応じた特別支援教育

【数値目標】授業がわかる 90%以上  
 年間読書量 低学年 100冊 中学年 3000P 高学年 5000P

### 美しい言葉・環境がある

互いを思いやる心、自分も人も大事にする気持ちを表現できる、自己肯定感を育む環境をつくる

- ・萩小の自慢づくり
- ・自然を愛する心、美しさを感じる心、奉仕の心を育む花壇づくり (FBC)
- ・JRC、福祉の活動・安全安心な環境づくり

【数値目標】  
 自分によいところがある 85%

自己肯定感を高める 勇気づけ

### 活躍する場・磨き合う場がある

競い合い、励まし合って互いの向上を目指す活動・場をつくる

- ・自ら取り組み、活躍の場がある特別活動
- ・互いの向上を目指す活動
- ・意図的に心身のたくましさを養う学校行事

【数値目標】  
 ステージごとの自己目標達成率 90%以上

### 明るく元気で個に寄り添う暖かな先生がいる

たくましさ・厳しさの中に真の暖かさのある魅力ある教職員、組織をつくる

- ・自己研鑽 (授業力、生徒指導力)
- ・チームワーク (リーダー、フォロワー)
- ・多面的な児童理解
- ・誠実で謙虚な姿勢

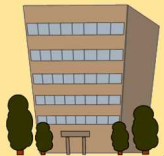
【数値目標】  
 研修を生かしている 85%

意見

設置

## 教育委員会

学校運営に関する意見



## 地域

### 学校支援地域本部

- ・ボランティア派遣
- ・ボランティア交流会
- ・輝楽さん

学校支援コーディネーター



## 学校支援グループ

### 読書活動支援

読み聞かせ、図書室整備

### 学習支援

校外活動引率、学習補助

### 安全支援

軒先運動、見守り隊

### 授業支援

授業に専門家や地域の人をゲスト講師として紹介

### 体験活動 (よこぐら)

芋づくり、米づくり、塩づくり等

### 環境支援

花壇整備、校庭整備

## PTA

- ・生活習慣
- ・家庭学習習慣
- ・親子読書
- ・PTA 活動

【数値目標】  
 PTA 活動参加 90%以上

豊かな体験が学びへと繋がります  
 ぶあそびや達成感のある授業や活動

【数値目標】  
 満足度 90%以上



協力平 夢ある未来を切り拓く

- 協創 授業が楽しいと感じられる子
- 協助 優しさという良さを輝かせる子
- 協働 自分の夢を持ち自信に溢れた子

重点目標 ○○○ ~日本一楽しい学校~

**特色1** 子供たちが楽しいと思える授業

- 「分かりやすい授業」を展開し、「確かな学力」「主体的に考える力」を身につけます。
- 一人一人の力をよく見て、必要な支援を丁寧に行います。
- 牧之原の「人・もの・こと」を学び、郷土を愛する心を育みます。

**特色2** 地域・保育園・中学校との連携

- 地域の皆さんが子供たちを守る、子供たちを育てる「牧小学校サポーター」です。
- 中学校との連携を強くし、9年間で子供たちを育てます。

**特色3** 子供たちの夢が溢れる

- 自分にはいいところがあるんだと思える活動をします。(協力平、コンサート、等)
- 子供たちの声が響く学校にします。(歌声、思いを語る声、あったかい言葉)

**特色4** 子供たちの持っている良さである「優しさ」が輝く

- 「協力平」の精神を全教育活動で意識してきます。
- 子供たちが持っている「優しさ」という良さが生きる活動をしていきます。
- いじめをしない、許さない、いじめの心に負けない子に育てます。

**特色5** 子供ファースト

- すべての活動を子供ファーストで考えていきます。
- 安心・安全な学校にします

数値目標

学校が楽しい。	100%
授業が楽しい。	90%
勉強が分かる。	90%
自分の良さに気づく。	90%
進んであいさつができる。	90%
温かい言葉	90%
協力して生活している。	90%
いろんな運動に取り組む。	90%

コミュニティスクール

子供たちの「夢」を保護者・地域が一体となってサポート



協力平 夢ある未来を切り拓く(案)

- 誠をもって貫き
- 愛を持って接し
- 勇をもって行う

重点目標 踏み出す私 高め合う仲間

**特色1** 子供たちが楽しいと思える授業

- 「分かりやすい授業」を展開し、「確かな学力」「主体的に考える力」を身につけます。
- 子供たちがお互いの多様性を認め合うことが出来る集団づくりをします。
- 一人一人の力をよく見て、必要な支援を丁寧に行います。
- 牧之原の「人・もの・こと」を学び、郷土を愛する心を育みます。

**特色2** 小学校・保育園・地域との連携

- 小学校との連携を強くし、9年間で子供たちを育てます。
- 地域の皆さん「協力平サポーター」と共に、子供たちの豊かな育ちを応援します。

**特色3** 子供たちの夢が溢れる

- 子供たちが自己肯定感・自己有用感を持つことが出来る教育活動を作ります。
- 子供たちが自分の未来に夢をもつことが出来るよう、計画的にキャリア教育を進めます。

**特色4** 子供たちの持っている良さである「優しさ・誠実さ」が輝く

- 「協力平」の精神を全教育活動で意識し、大切にしていきます。
- 子供たちが持っている「優しさ・誠実さ」という良さが生きる活動をしていきます。
- いじめをしない、許さない、いじめの心に負けない人間育成を目指します。

**特色5** 子供ファースト

- すべての活動を子供ファーストで考えていきます。
- 安心・安全な学校にします。


数値目標

学校が楽しい。	100%
授業が楽しい。	90%
勉強が分かる。	90%
自分の良さに気づく。	90%
進んであいさつができる。	90%
温かい言葉	90%
協力して生活している。	90%
重点目標が達成できた。	90%

コミュニティスクール

子供たちの「夢」を保護者・地域が一体となってサポート

## 校長研修<一貫教育>

回	期	次第 及び 内容
第一回	5月29日	<p>牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針（説明）            （目標）「次代を切り拓く力」の育成（子どもが自立し、主体的に社会を生き抜くことができる人間力を身につける）            ⇒・キャリア教育を軸とした小中一貫教育・社会全体で子供を育てる仕組み（コミュニティスクール）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>自校の教職員へ各校校長による方針の説明（夏季休暇中）</p>
第二回	11月29日	<p>先進地視察（浜松市立中部学園）</p> <p>・小中一貫教育に関してのイメージの共有化を図る為            ⇒次年度（中学校区ごと）；9年間をひとまとまりとして捉えた学校教育目標（目指す子ども像の共有）、学校経営の共通力点、お互いの情報交換、交流の計画            （指定校だけでなく、令和3年には、中学校区ごと小中一貫を目指した具体的な取組を行っていきたい。実施したい）            ⇒令和4年度には、各中学校区が一貫教育を目指した連携教育の実施</p> 

## 教頭研修<コミュニティスクール>

回	期	次第 及び 内容
第一回	7月2日	<p>・趣旨説明（教育委員会）</p> <p>・講話「コミュニティスクールとは」  <b>生重 幸恵 氏</b>(NPOスクール・アドバイズ・ネットワーク理事長)</p> <p>・立ち上げに向けて(質疑応答)</p>  
第二回	11月29日	<p>ーコミュニティスクールの立ち上げに向けてー</p> <p>・講話「コミュニティスクールを立ち上げにむけて」  <b>井上尚子氏</b>(文科省コミュニティスクールマイスター)</p> <p>・モデル校の進捗状況・立ち上げに向けて(質疑応答)</p>  
第三回	2月13日	<p><b>先進地視察(横浜市:東山田中学校コミュニティハウス)</b>            コミュニティスクール(学校運営協議会)に関して具体的なイメージを持つ。</p> <p>講話「コミュニティスクールの立ち上げの行程、  <b>立ち上げての成果と課題、今後の方向性</b>」  <b>講師:竹原和泉氏(東山田中学校ブロック学校運営協議会会長)</b></p>  

※モデル校立ち上げに関して



- ・運営協議会のメンバー；10名以内（できるだけ校長が、腹を割って話せる地域の方（数名）
- ・メンバーの任命は、来年度になってから任命。運営協議会の一年目は、校長の方針の承認は、方針の説明に。一年間をかけて、メンバーには、学校を知るということを一番の目標にし、翌年の2月から方針の承認をスタートさせたい。

- ・CSディレクター；モデル校

(萩間小；10月より、勝間田小；11月より実施)本年度は、学校支援コーディネーターとして活動





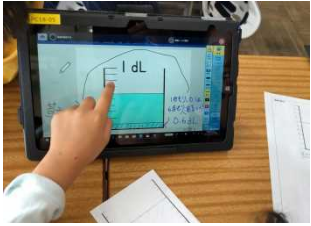

## 主幹・教務主任研修(キャリア教育)

回	期	次第 及び 内容
第一回	9月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針「キャリア教育を軸とした小中一貫教育」をうけての本研修の趣旨説明(市教委)</li> <li><b>講話「キャリア教育を柱とした雲南市の教育」</b> 講師 飛田博志 氏(島根県雲南市教育委員会社会教育課主査 キャリア教育推進室室長)</li> <li>分散会(講話内容に関して、自校のキャリア教育等)</li> </ul>  
第二回	11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>牧之原市のキャリア教育で育てたい資質・能力について(9年間の系統図)</b> (キャリア教育を軸とした教育に向けての試案) &lt;別紙参照&gt;</li> <li><b>牧之原市キャリア教育プログラムについて</b> (市として取り組みたいプログラムの作成中) &lt;別紙参照&gt;</li> </ul>
第三回	1月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てたい資質能力(系統図)検討、各校への提案</li> <li>キャリア教育プログラム作成に向けて(来年度、プログラムの試み、作成、検討)</li> </ul>

## 生徒指導研修会

回	期	次第 及び 内容
第一回	7月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;本年度の研修の方向性&gt;①9年間を見通した生徒指導の在り方を探る。②実態を把握し、中学校区内での連携を探る。</li> <li><b>【中学校区別研修】</b></li> <li>各校の実態と各小中学校の生徒指導目標について</li> <li>めざす子ども像について</li> </ul>
第二回	11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【中学校区別研修】</b></li> <li>各小中学校における授業のきまりや宿題の出し方について情報交換し、共通して又は連携して取り組めることを探る。</li> <li>各小中学校における生活のきまりについて情報交換し、共通して又は連携して取り組めることを探る。</li> </ul>

## ICT研究員研修会

回	期	次第 及び 内容
第一回	5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>牧之原市ICT教育推進構想について(教育委員会)及び本年度の研修計画について</li> <li><b>※9年間のICT教育推進構想作成について(提案)</b></li> <li>スカイニュークラスの活用方法について</li> <li>グループ協議(各校の進捗状況)</li> </ul>
第二回	8月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング教育体験講座Ⅰ(マキノハラボ)</li> <li>プログラミング教育体験講座Ⅱ(マキノハラボ)</li> <li>適応学習ICT教材紹介(ライズ(株)、(株)学研プラス)</li> </ul>  
第三回	11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ICT活用授業研究</b></li> <li>算数3年生(授業者;伊藤大志郎教諭)</li> <li>-主体的・対話的で深い学びへICTの特性をどのように活用するか-</li> <li>放送大学 中川一史教授による講話及び指導</li> <li>ICT活用力形成マップについて</li> </ul>  
第四回	1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の各校の取組紹介</li> <li>ICT機器を活用した協働的な学びについて(成果と課題及び今後の方向性)</li> <li><b>9年間を見通した情報活用能力の育成について</b></li> <li>※牧之原市 9年間で育む力の形成マップ検討</li> </ul>

## <その他>

- ・外国語活動研修…第3回（1月31日）…<来年度>「**小中一貫カリキュラム単元指導系統表**」作成に向けて  
令和3年度には、他教科で実施（予定） ※藤枝市教委 12月3日訪問（佐藤指導主事）
- ・コミュニティスクール；**モデル校**（先進地視察）…12月9日《東京都杉並区立天沼小学校コミュニティスクール**運営協議会**（傍聴）  
<参加者；モデル校3校校長>

## 新事業

- ・「**学びと育ちをつなぐ小中連携事業**」（市校長会にて提案済み）

R2, 3⇒牧中、牧小

R3, 4⇒榛中、川小、細小、勝小、坂小

R4, 5⇒相中、相小、地小、菅小、萩小

※2年目の夏季休業中に実施する「**教育講演会（仮称）**」にて研究成果の発表

- ・特別支援教育部会…9年間の成長を育む個別支援計画共通形式の作成（きめ細やかな指導）
- ・研修部会の再設（教育会）…9年間を見通した系統立てた学びにより学力向上を図る。

- ・**教育講演会（仮称）…令和2年8月12日（水）9:00～12:00 場所：い〜ら**

演題（仮）「**学ぶ・働くをつなげるキャリア教育**」

講師；**長田 徹** 氏（文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官）

**<市内教職員全員参加対象>**



※起業家教育…令和2年8月8日（土）8:30～17:30（予定）場所；富士山静岡空港 会議室



中学生対象（相中、榛中、牧中、御中）30名

内容；会社の設立から資金調達、原材料の仕入れ、商品開発、販売・決算までの流れを体験（会社づくり、マーケティング商品企画、事業計画策定、資金調達、製造・広告制作、販売・プレゼン、決算返済）を通し学ぶ。

主催；まきのはら産業・地域活性化センター

（共催又は後援）；牧之原市教育委員会<共催、後援の意図⇒**キャリア教育のプログラム入れたい**>

### キャリア教育を軸とした；軸への構想

#### 1年目

9年間で育む資質能力表、プログラム作成（主幹・教務）  
キャリア教育を柱にした（雲南市）の思い理解（主幹・教務）  
プログラム例の検討（主幹・教務）

来年度の経営構想提出（校長）

#### 2年目

資質能力表の試行（主幹・教務）

プログラムの開発（主幹・教務）

キャリア教育<教育講演会>（全教職員）

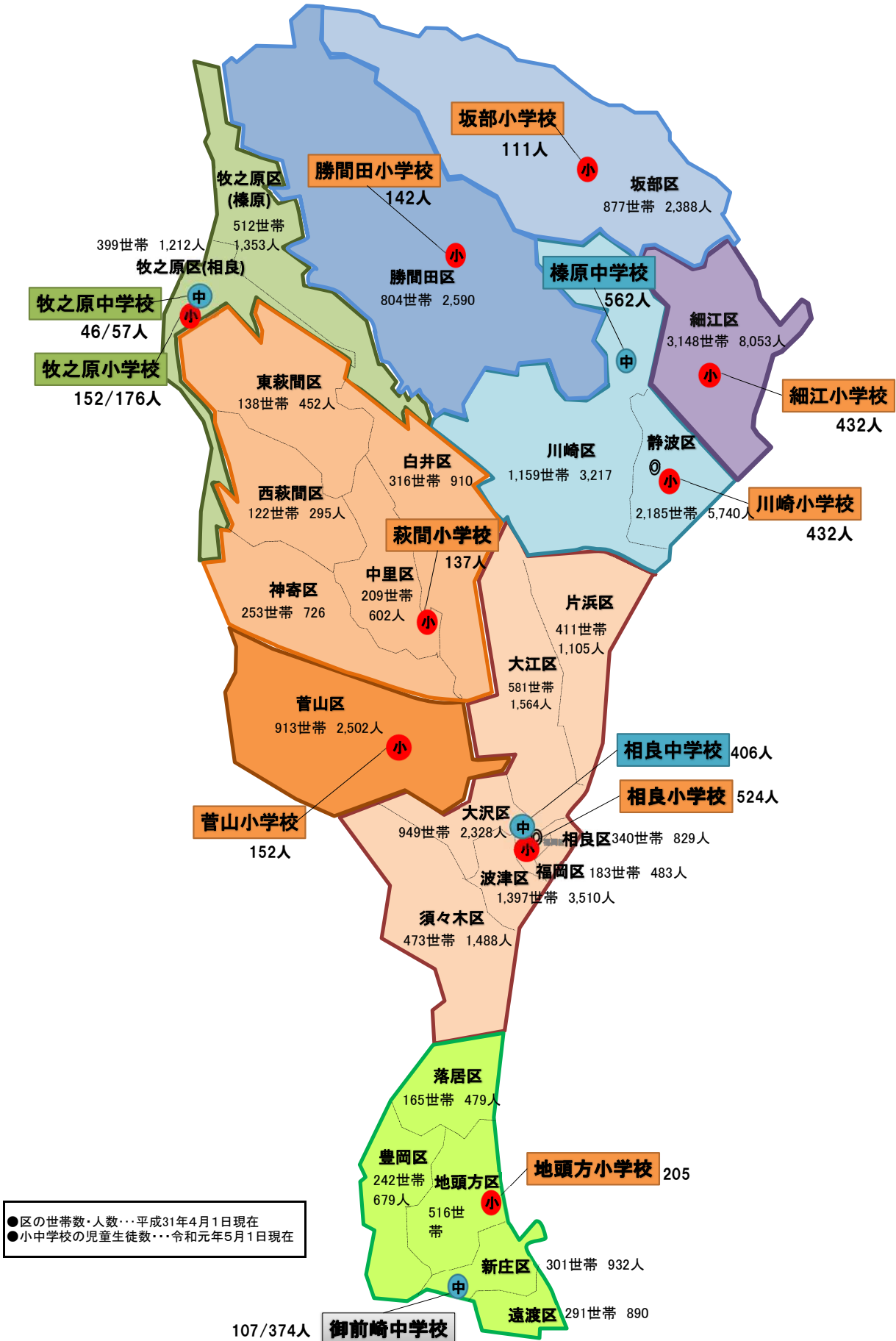
指定研究の視点（校長）

**キャリア教育を基盤に据えた経営構想**（校長）

# 牧之原市の区・学区及び小中学校の位置図

資料3

令和2年3月2日 牧之原市学校再編計画策定委員会資料





## ■ 学校再編検討のための比較表

### 資料4

#### 望ましい教育環境のあり方に関する方針に示されている条件

○次代を切り拓く力を育むために、キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを進める。

#### 【施設環境】

○通いたい・通わせたいと思われる魅力的な小中一貫校

○1学年3学級、建築後20年間は単学級にならない規模。

○安心・安全な施設(津波浸水想定区域外、防災機能の充実、耐震性能等)

○時代に対応した設備(ICT、教育活動、多様性、エコ等)

○施設の一部又は隣接地に市民と共有できる機能(地域の人の活動スペースの確保、複合化等)

○2030年までの開校を目指す

#### 【その他の視点】

○現在の中学校区を単位としてソフト事業(小中一貫教育等)を検討・試行しており、再編の学区は、現在の中学校区を分割しない方がソフト事業と合致する。

○新しい学校をできる限り人口が集中するエリア近くとし、徒歩又は自転車で通うことができる人数をなるべく多くすれば、予算を含めた通学の負担が少なくなる。

○12校中11校が築40年以上経過している(うち、築50年以上は5校)ため、今後建替え等の対応が必要となる。

○学校組合の扱い

学校数	小中1校	小中2校	小中3校	12校(現行のまま)
児童・生徒数・規模	①2019年(R1) ・ ②2030年(R12) ・ ③2050年(R32)			2019年(R1)現在 適正規模校は小学校9校中3校、中学校3校中2校。 ・2030年には、適正規模校は小学校は変わらない、中学校は1校になり、単学級の学校は1学年の人数は一桁になる学年も現れる。 ・2050年には半数の小学校に複式学級ができる可能性が高い。
教育活動	・新学習指導要領に合わせた教育活動が効果的に行えるか。 ・キャリア教育を軸とした小中一貫教育と社会全体で子どもを育てる仕組みを進めるために効果的な教育活動が行えるか。			・地区に学校があるため、教育活動に地域の人々が参加しやすい。 ・多くの学校が単学級となるため、クラス替えができなく、活動に応じた集団規模を選ぶことも難しい。
施設・設備	・上記教育活動が効果的に行える施設かどうか。 ・小中学校の施設整備指針に合った施設かどうか。			・12校中11校が築40年を超える校舎を有しているため、この校数を維持するには大きな費用がかかる。校数が多い分1校あたりの施設・設備に掛けることができる金額が限られる。
場所	・必要な敷地面積はどれくらいか。また、建設可能な場所があるか。 ・周辺整備の必要があるか。(接道新規又は拡幅整備の有無等)			・12校中4校が津波浸水想定区域に立地。

学校数	小中1校	小中2校	小中3校	12校(現行のまま)
建設費用	・校舎、体育館、プール、運動場等建設するものと総額			
30年間の維持管理費	・県の価格を参考に、中規模改修、大規模改修、設計額、通常の維持管理費の試算。			
補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような種類の補助があるか。</li> <li>・他市町の事例等</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化による新築補助なし。</li> <li>・改修その他について補助有。</li> </ul>
通学手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想としてどこかに中心を置き、そこから2km、4km、6kmの範囲の児童生徒数から、想定される通学手段とその方法で通う人数。</li> <li>・スクールバスは、牧之原市の自主運行バスの金額及び他市町の1路線の価格を参考に載せる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの児童生徒が徒歩又は自転車通学が可能。</li> <li>・200人弱が通学補助を受けている。</li> <li>・バス通学は半額補助</li> <li>・徒歩 年間5,000円補助 (小学1, 2年生 2.5Km、3～6年生 3km以上)</li> <li>・自転車 年間8,000円補助 (中学生 6km以上)</li> </ul>